

ホストタウンの取組み

これまでの
交流

2020年まで
の交流

大会中

大会後

- 2011年6月、台湾舞踊家協会が避難者慰問
(毎年7〜8月)
- 2012年より中学生台湾派遣交流事業を実施
- 2013年5月、村長が台湾訪問(風評払拭、
交流先学校視察)
- 2014年8月、台湾傳鍊堂綜合藝術団公演
- 2016年11月、村長が台湾訪問(交流先自
治体、台湾政府関係機関訪問)
- 2018年1月、台湾の教育関係者来村
- 2018年8月、鈴木教育長が卓球協会等訪問
- 2018年7月、村長が台湾訪問(チャーター
便継続要望、舞踊団と会談)

- 卓球の日本オリンピアンを村に招き交流、
震災後にお世話になった舞踊団を村に招き、
村民や当時慰問を受けた避難者と交流
- 交流のある南相馬市のマラソン大会に村の子
どもたちを派遣し、オリンピアンと交流
- Tリーグの台湾選手の応援

台湾選手の応援

台湾の卓球オリンピアンを村に招き交流



ホストタウン事業で 期待される効果

中学生台湾派遣交流事業の
充実と相互交流の実現

オリンピックに関わったということが、
村民の誇りや自信の醸成につながる

台湾に北塩原村をPR
(インバウンドの推進)

レガシー

台湾と北塩原村の
継続的な交流

国際的な視野を持つ
次代を担う人材の育成



台湾舞踊家協会
による慰問



交流する村と台湾の
中学生たち